

お薬の話…4

みなさまは、外用薬（貼り薬、目薬、坐薬、吸入薬など）をもらわれたとき、疑問に思った事や悩んだことはないでしょうか。今回は、その中で「坐薬」について質問形式でお答えしたいと思います。

Q. 坐薬ってなんですか？

A. 坐薬という言葉から、「座って飲む薬だと思った」という方が見えますが、坐薬は、肛門や腔に入れる固形の薬です。坐薬というと痔に使用する薬を連想しがちですが、坐薬は、痔などの局所・鎮痛に使われるほか、肛門のすぐ上に位置する直腸から薬を吸収させ炎症、嘔吐、痛み、発熱などの疾患にも使われています。これらの坐薬は、飲み薬と違い胃腸障害が少なく、食事に関係なくいつでも使えます。また、効き目が早いので、頓用（発作、発熱、発痛など臨時的に使用する場合）としてよく処方されます。



Q. 坐薬の使い方を教えてください。

A. 坐薬を包装から取出し、ティッシュペーパーなどで坐薬の底をつまみます。先のとがっているほうを肛門に挿入します。中腰でお腹に力を入れないようにし、肛門内に出来るだけ深く入れ、そのまま立ち上がると簡単に挿入できます。坐薬が入りにくい場合は、薬の先端を少量の水で濡らすか、あるいは薬が少し溶け始めるまで肛門に押し当てておくと入りやすくなります。また、小児の場合は、おむつをかえる時の形に入れ、しばらくそのままおさえておいて下さい。

Q. 坐薬はどう保管したらよいのですか？

A. 坐薬は、体温で溶けるように調製されています。そのため、30度以上になると変形したりしますので、なるべく冷蔵庫などの冷所に保管することが望ましいです。

Q. 坐薬を入れた後に排便をしてしまいました。どうしたらよいのでしょうか？

A. 坐薬をいれた直後に排便した場合ですと、一緒に坐薬もでてしまいますので、もう一度入れてください。入れるときの刺激・異物感で便意を感じることがありますので、できるだけ排便後に使用して下さい。また、薬が溶け始めると便意はおさまりますのでしばらくがまんしてください。また、激しい運動も避けて下さい。挿入して10～15分以降に排出した場合は、薬がどのくらい吸収されたのかわかりませんので経過をよく見て次の使用まで4時間以上の間隔をおいてください。

Q. 解熱と吐き気止めの坐薬を二種類もらいました。どのくらいの間隔をあけて使用すればよいのでしょうか？

A. 解熱剤と吐き気止めの坐薬は一度に挿入しても、薬効的には問題はありません。しかし、そのことが刺激になって便意をもよおし、せっかく挿入した坐薬が出てしまうことがありますから、時間をずらして入れたほうがよいでしょう。時間は、30分もすれば、坐薬は溶けて直腸での吸収がはじまり、1時間もすれば完全に吸収されます。したがって、30分～1時間の間隔をおいて使用すればよいでしょう。



Q. 解熱剤を入れましたが、熱が下がりません。もう一本使ってもよいのでしょうか？

A. 挿入して、1～2時間して効果がないからといって、すぐに追加しないでください。一度使用したら5～6時間は様子を見て下さい。熱が下がらない時でも追加する時は、5～6時間たってから使用して下さい。

今回は、坐薬についてお話ししました。坐薬が処方されている患者様には、薬局から、説明書と一緒にお渡ししています。なにか質問、疑問等ありましたら薬局窓口までお尋ね下さい。 [薬局]